

学校名 熊谷市立別府中学校
所在地 熊谷市西別府1817
電話 048-532-6004

1 本校の概要

本校は、春には周囲に桜が咲き誇り、花と緑の豊かな別府沼や田畑が広がる閑静な住宅街に位置し、学校教育目標「しなやかに 未来の自分を創る力を育む」を掲げ、地域の方々の支えの下、日々教育活動を行っている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・ 司書教諭・学校図書などを活用した取組
- ・ 家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

本年度は、校舎の大規模改修工事の関係で、図書室が使えない状況である。そのような環境下で、読書活動を推進するために何ができるか、次の点について工夫を凝らして実践してきた。

ア 高校図書館との連携

市内の高校図書館の視察を行い、改修工事後の新しい図書室を作り出す上での配架の工夫や飾り付け、選書などの助言を図書館司書からいただいた。学習漫画の充実、生徒の特性に応じた選書、どこを見てもテーマパークのような明るさと、見出しの工夫、図書館イベントや委員会生徒の活動内容など、非常に良い参考になった。本校の図書室は立地が良いとは言えないが、多くの生徒、教員が足を運びたいような図書室へと大きく改革していきたい。



イ 読み聞かせの実践

新たに、令和6年度「本とのふれあい事業」（社会教育課主催）に申し込み、地域の朗読ボランティア団体「ピース」の方に来ていただき読み聞かせを行った。クラスごとに、放課後20分間の読み

聞かせを図書委員会の生徒を中心に運営した。感想を記入し、講師の方々へ送った。併せて図書委員会からお礼の「しおり」を作成し、お渡しした。次年度は回数を増やして行う予定である。



ウ 全校生徒参加型ビブリオバトル

今年で3回目となる校内ビブリオバトルを開催した。昨年に引き続き、県民の日に行われる「図書館と県民のつどい埼玉2024」の中学生のビブリオバトルに参加することを目標に、3年生の各クラスで予選を勝ち抜いた4名の生徒が、文化祭の場で、ルールに基づいて発表をした。それを受けて1,2年生が投票を行い、結果発表と表彰を行った。司会進行、パネリストもすべて生徒が行う形で運営した。チャンプ本は「星が人を愛すことなかれ」斜線堂 有紀(著)



3 成果と今後の課題

(1) 成果

- ・ 新しい図書室を作り出す際の工夫点を知ることができ、高校図書館司書との連携が深められた。
- ・ 新たに読み聞かせを実践し、地域の方々と連携することができた。

(2) 課題

- ・ 読み聞かせの運営
- ・ 新しい図書室の利用者数を増やす取組

(3) おわりに

高校図書館司書の助言を受けて、図書室設営のヒントをたくさん得ることができた。図書館補助員や他教員の力も結集し、図書委員会の生徒と共に工夫を凝らした学校図書館の運営に力をそそぎたい。また、自身も楽しみながら進めていきたい。